



理事長より

クリニックの運営に関する事で、お困りの点や疑問点がありましたら、いつでもお気軽に理事長までお電話ください。

新年あけましておめでとうございます。
平成22年が皆様にとって、よい年であります
ことを心より祈念しております。

さて、去年は政治的にも経済的にも大きな
変化があった年でした。今年も昨年からの
変化が、医療や介護などにどのような影響を
及ぼすのか大変気になるところです。
一方最近お一人暮らしの高齢者が増えている
ことも気になります。都内のある区では、
平成16年に一人暮らしの高齢者が21.1%だ
ったものが、平成19年には25.6%に増加し
ており、居宅サービス利用者においては、実
に29.5%が38%とさらに上回る数字で増加
しています。

このように一般の高齢者に比べ、居宅サ
ービス利用者のほうが、独居率が高いとい
うことは、居宅サービス利用者のほうがよ
り高齢であり、家族介護が必要になってい
るにもかかわらず、さらに同居家族がい
なくなっているという矛盾した状況を
示しています。

このような時代の流れの中で、私
たちは法人の診療・看護・リハビリの
あり方を少しずつ軌道修正していき
ながら、患者さんやご家族そして
地域のかたがたに、よりよい在宅
医療を提供し続けることが使命と
気を引き締めています。



はなぶさひろお
理事長 英 裕雄

銀座ヒロクリニック院長より

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年末は中央区医師会の事業で、小児を
対象とした新型インフルエンザ集団予防
接種を行いました。注射は大人でも嫌な
ものです。接種前に大泣きしている子
、恐怖で青ざめている子、何事もな
く笑っている子、それぞれ子供によ
って反応も違い興味深いものでした。
注射の痛みが怖いというよりも、未
知のものに対する恐怖に脅えて不安に
なってしまうようです。不安は本能
的に人間に備わり自分を守る防
御反応とも言えます。感染から守る
予防接種という医療に対して恐怖を
感じてしまう。あまり過剰な医療は
本能が危険を感じてしまうという
ことでしょうか。

より良く生きるために安心を感じられる
医療とは何かということ、みなさまと
共に考えながら日々の診療を行いた
いと思います。
今年も宜しくお願いします。



あなたの人生により良い医療を

銀座ヒロクリニック 院長 しいい とおる
椎井 徹

本郷ヒロクリニック院長より

新年あけましておめでとうございます。
ヒロクリニックも開院から半年のときを過ぎ、無事に新年を迎えることができました。まだまだいろいろなことに手探りの状態ですが、本年も御自宅・施設で療養される皆様がひとつひとつ希望をかなえていくことができるよう、スタッフ一同努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。さて、『食』は「人」を「良」くすると書き表されます。ふと『食』について考えると、お国柄を反映するような特色ある料理が思い浮かびますし、いろいろな料理法などの創意工夫の数々など興味深いことがたくさんあることに気づかされます。

毎日くりかえされる“地産地消”の積み重ねが、それぞれの土地・家庭の歴史を反映しているのでしょうか。お口からとる食事、胃ろうからの食事、食事がわりの点滴などいろいろな形があるかと思いますが、今年は『食』のあり方について考えてみようと思っております。



本郷ヒロクリニック 院長 たにかわ ふとし 谷川 太志

MSWだより

新年あけましておめでとうございます。

昨年度は、患者様・ご家族様をはじめ、各関係機関のスタッフの方々には、大変お世話になりました。

お正月は皆様いかがお過ごしになりましたでしょうか。

私は、大晦日から元旦にかけて長野県高遠町の温泉「さくらホテル」でゆっくり過ごしました。ここの温泉はアルカリ性単純温泉で、神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・うちみくじき・慢性消化器病・疲労回復・健康増進などに効果があるといわれ、また「硫酸イオン」という成分が含まれており、保温、美肌効果もあるとのこと。夕食は会席料理でお酒も美味しくいただきました。



さて、2010年がはじまりました。一昨年、この通信「かけはし」を発行するようになりあっという間に1年……。早いものですね……

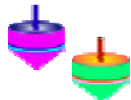
平成20年7月に「銀座ヒロクリニック」、平成21年7月に「本郷ヒロクリニック」を開いたしましたが、おかげさまで、両クリニック共に徐々に新規の患者様の依頼も増えはじめ、順調に稼働している状態でございます。

この場を借りて、患者様・ご家族様はもちろんのこと、常日頃より連携させていただいております各関係機関多職種の方々には厚く御礼申し上げます。また、昨年11月から年末年始にかけては新規患者様の依頼が殺到し、受入が難しくお断りせざるをえないこともあり、ご迷惑をお掛けしましたことを併せてお詫び申し上げます。

今年も、新宿・銀座・本郷ヒロクリニックをどうぞよろしくお願いいたします。

新規患者様のご依頼・ご相談につきましては、銀座・本郷も併せて「新宿ヒロクリニック」で対応しておりますので、唐木迄ご連絡いただきますようお願いいたします。

相談窓口MSW からき きょうこ 唐木 香子 03-5909-1220



在宅の現場にて

体のあちこちに癌があり、食事が取れなくなったからということで、入院していた62歳の男性は、中心静脈栄養療法が開始となり病状が安定した。そして退院の準備をするために、私たちが入院先の病院に訪問した。しかし前日ぐらいから微熱と咳症状があり、介護する奥さんは退院に不安になってしまったということだった。

「この人が帰りたいというのは判っています。でも私一人で診てあげる自信がないのです。」そういって入院している夫のベット脇で妻はさめざめと泣いていた。

それを見上げながら、「妻は一人で抱え込んでしまうタイプなんです。」とベットに寝ている夫は、私たちに申し訳なさそうに言い訳した。

そして「そういう私も、実は昨日から急に調子が悪くなり、帰るのが怖くなってきました。」と初対面の私たちに正直に心情を吐露する。

「ご心配はよくわかります。でも私たちがいつでも対応します。どうぞ安心して退院してください。」と私が励ます。訪問看護師が、「退院してから私たちがいろいろお手伝いしますから。」と明るく話しかける。しかし夫婦の不安はなかなか解消しきれなかった。

しかし数日後、夫は退院した。二人が退院を決意したのは、私たちの励ましが通じたからというわけではない。ちょうど正月を控えて、年末年始の休暇を遠方から来る孫と一緒に家ですごしたいからという気持ちが強かったからだ。そしてその間は、大勢いるので妻が一人で介護を抱え込まないですむからということだった。

たしかに日中は、孫や息子夫婦や娘夫婦たちとにぎやかに過ごしている。だから安心して過ごせた。しかし夜になるとみんなが三々五々と家に帰ってしまう。そして残された妻が一人で介護しなければならなくなったとき、不安は最高潮に達した。

とにかく不安で気が狂いそうになるというのだ。

そんな様子を見ている夫も妻を気遣う。これでは妻が倒れてしまうから、もう一度入院しようかな？とつぶやいた。この様子を見ていた在宅往診医が案じてひとつ提案した。「うちにはボランティア看護というのがあります。私の指示で看護師が家族に代わって付き添うサービスです。まずは一晩利用してみませんか？」「えっ」と二人は顔を見合す。「それはいくらかかるのですか？」妻が心配する。

「原則無料です。私たちは、より多くの方が在宅で安心して過ごしてもらいたいのです。だから当院の看護師に協力してもらって皆さんの不安がどこにあるのか？どうしたらいいのかを考えるために、付き沿わせてもらうようにすることがあるのです。」

「まず一晩やってみましょう。」と主治医の言葉に誘われて、二人はうなづいた。

その晩から、ボランティア看護が始まった。

最初の晩は見知らぬ看護師の訪問に逆に興奮したのか妻はいろいろなことを話しまくったという。「あれではかえって疲れさせたんじゃないかな？」翌朝クリニックにかえってきた看護師がつぶやいた。次の日には別の看護師が訪問したがさすがに疲れたのだろう。今度は看護師が到着すると同時に妻は自室に入りすぐに入眠したという。そして朝までぐっすり寝ていたというのだ。翌日妻はこれまでとうってかわって元気になった。じつはこれまで夫の入院中から心労がかさんでほとんど眠れなかったという。日中は家族との団欒は楽しかったらしいが、夜も不安で眠れなかったという。それが一晩ゆっくり眠れたら、妻はすっかり元気を取り戻せたというのだ。

「毎晩は来てもらわなくていいわ。でも本当に疲れたらまたお願いね。」妻は明るい声で言った。

ボランティア看護は何もすべて家族の代わりができるわけありません。しかし時に家族に必要な介護休暇や、ご家族だけではできない外出介助などを通じて新しい療養の可能性を探る試みなのです。必要時には、主治医と相談の上、ぜひご利用ください。



はなぶさひろお
新宿ヒロクリニック 院長 英 裕雄

その他

・お正月のお話し

☆おせち料理は食べましたか？☆

正月の神様を「歳徳神」といいます。また、「恵方神」「正月神」ともいいます。昔は、一年の幸福や五穀豊穡を祈って、今年の縁起のよい方角に神棚を設けて神様をまつり、お供え物をしました。おせちというのはそのお供えものを指したそうです。

それを後で神棚からおろして食べる場合と、同じものを神様と一緒に食べる場合があるそうですが、どちらの場合も、一年の幸せの祈りが通じるように、気持ちは神様とともに食べたのだそうです。それが本来のおせちの意味だそうです。今では一般的に正月料理のことを「おせち料理」と呼ぶようになってますよね。



・事務連絡（相談窓口について）

医療費に関わることなど症状以外に生活上お困りのことがございましたら、相談窓口までご相談ください。担当の者より折り返しご連絡させていただきます。

（相談窓口：新宿ヒロクリニック 飯島まで）

TEL：03-5909-1220

アクセス紹介

医療法人社団 三育会

新宿ヒロクリニック

〒160-0023
東京都新宿区西新宿3-3-11
杉本ビル3F

TEL:03-5909-1220

（在宅・在宅医療相談室）

TEL:03-5909-1231（外来）

FAX:03-5909-1233

- ・JR線「新宿駅」南口徒歩7分
- ・地下鉄大江戸線「都庁前駅」徒歩5分

医療法人社団 三育会

銀座ヒロクリニック

〒104-0045
東京都中央区築地2-7-12
山京ビル3F 308

TEL:03-5551-1220

FAX:03-5551-1221

- ・地下鉄有楽町線「新富町駅」徒歩2分
- ・地下鉄日比谷線「築地駅」徒歩2分

医療法人社団 三育会

本郷ヒロクリニック

〒113-0033
東京都文京区本郷3-17-11
Zビル2F

TEL:03-5805-1220

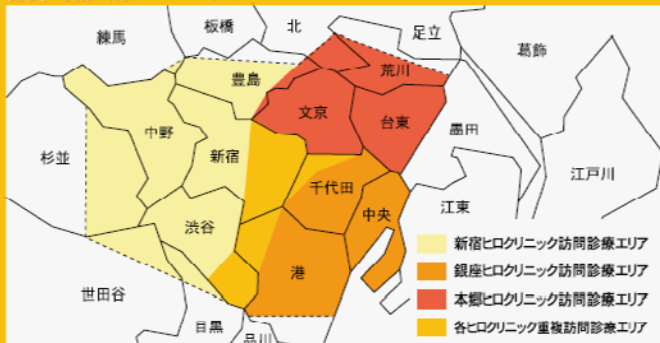
FAX:03-5805-1243

- ・地下鉄大江戸線「本郷3丁目駅」徒歩2分
- ・地下鉄丸の内線「本郷3丁目駅」徒歩3分



訪問エリア

訪問診療のエリア



その他の地域についてもご相談ください。
対応可能な場合があります。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。“かけはし”の創刊から早いもので2回目のお正月を迎えることができました。今年も皆様方へいろいろな出来事をお伝えしていきますので、どうぞよろしくお願い致します。次回（春号）は、4月にみなさまのお手元にお届けの予定です。

ご意見・ご感想などありましたらお気軽にお寄せください。

冬号 vol.006 2010年1月発行
発行／医療法人社団 三育会
〒160-0023 新宿区西新宿3-3-11
編集責任者／芝